

- 実施主体 阿蘇の自然を愛護する会
- 実施場所 阿蘇市小里 阿蘇草原保全活動センター裏
- 実施期間 平成27年4月～平成28年3月



◇背景・ねらい

草原学習の拠点となる草原保全活動センター裏に4アールほどの空き地がある。これまでは内牧一区が農地水対策に於いて草刈り作業をしてきたが、建設用地の関係で26年度は草刈りもしておらず、枯草火災などの危険性や有害動物の侵入もあり荒廃している。

ここを野の花園にする活動を行い、自然教育の場として活かせるようにしていきたい。野の花を育苗し、その後の植栽や管理は子どもたちの教育のために残し、自然の偉大さや野の花の自然との共生などを学び、阿蘇の自然環境を誇りに思う心を育て、地域を愛する教育につなげていきたい。

◆実施概要

- ・除草作業、野の花の支柱立てなど、各種管理。

<平成27年阿蘇草原再生教育 野の花園 整備事業>

H27.4月	除草剤散布、草泊まり作成、ヒゴタイ播種、野の花移植、薬剤散布、草刈りなど
5月	草刈り、薬剤散布、野の花移植、ウメの木植栽、除草作業、野焼きと道路沿い偽木下草刈り、草刈りと焼却、側溝土上げと大石堀利上げ、石運び、側溝堀りなど
6月	野生ノバラ切除作業、大石・小石運搬処理、笹舟・紙鉄砲指導、ツクシイバラ挿し穂、スギナ採集、ホタルブクロウ植栽、除草剤散布、ヒゴタイ植栽、ハナショウブ移植、ヤツシロソウ・ヒメユリ展示、野の花管理、草取り、草刈りなど
7月	草刈り、中学生指導、野の花支柱立て、堤防草刈り、薬剤散布、ヒゴタイの根・草取り、ツクシマツモトの寄せ植え、アマチャの木植込など
8月	草刈り、堤防草刈り、草取り、サワオグルマ植栽、薬剤散布、ツクシマツモト植栽、石ひらい・石処理、刈り草裏返し作業、マツムシソウ移植、盆花供花、エゾミソハギ植栽、ハナシノブ植栽、堤防野焼き、大石運搬、マツモト植栽など
9月	草刈り、ナンバンキセル植栽、ヒゴタイ播種試験「秋播」、野生キキョウ種採集、草刈りと一部焼却など
10月	赤い羽根募金活動、草刈り、オミナエシの種分譲・袋詰め、薬剤散布、石ひらいなど
11月	バラ・アマチャ・オキナグサ、タマボウキ・ショウブ、ツクシフウロ・ユリ植栽など。
12月	シロシブキとマユミ植栽など
H28.3月	野の花播種・育苗、草刈り、ノカンゾウ移植、草取りなど

◆実施体制

- ・日頃から阿蘇草原保全活動センターの応援を頂いている。

◆成 果

- ・野の花園は4a。土地が肥えているので発育がよいのも特徴である。

◆実施者の感想

- ・今年は、春から秋まで多数の野の花が咲き、見学者も多かった。次年度につなぐために、種類を増やしたい。
- ・教育の場としての認識を持ち、花の名前、指導のポイントを充実していきたい。
- ・福の会メンバーの中から随時4名は参加していただき、主に草取り等を実施する。